

Julabo Case Study

JULABO FP50-HL

10L反応器を
-20°Cから+20°Cに加熱



目的

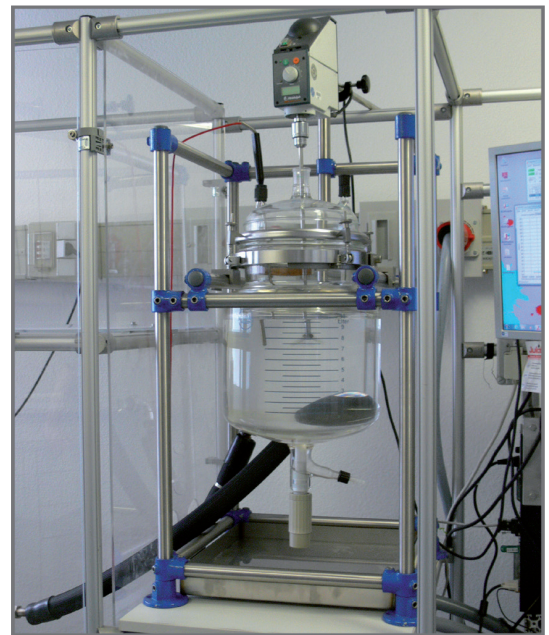
本ケーススタディーは、10Lガラス反応器を使用しユラボFP50-HLの加熱能力をテストしました。FP50-HLと反応器は2mのメタルチューブで接続します。FP50-HLは-20°Cから+20°Cに加熱するようにプログラムされています。

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz

テスト条件

ユラボ装置	FP50-HL
冷却能力	+20°C 0.9kW 0°C 0.8kW -20°C 0.5kW
加熱能力	2kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.4bar
循環液	ユラボサーマルH10
反応器	10Lガラス反応器(Normag) 10LのサーマルH10を充填
ジャケット容量	5L
温度制御	外部温度制御 (ICC)



テスト結果

次ページグラフ参照: FP50-HLは-20°Cから+20°Cまでオーバーシュートなしに70分で加熱します。

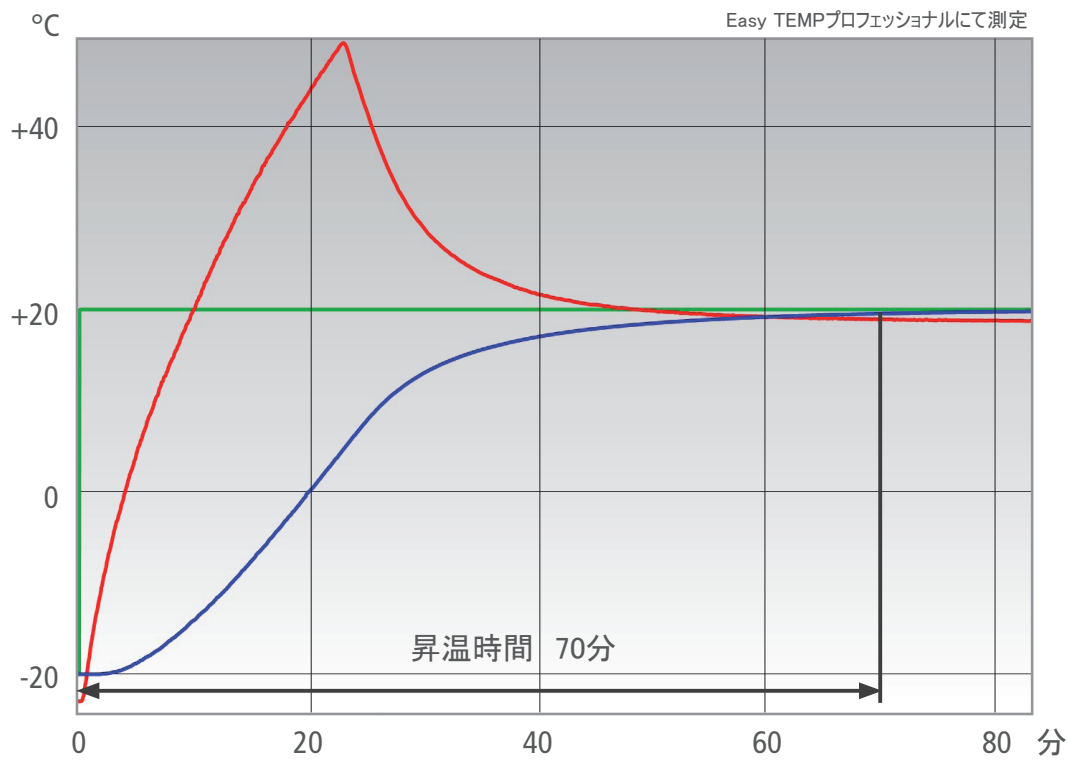
情報

PTFEコーティングされたPT100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。



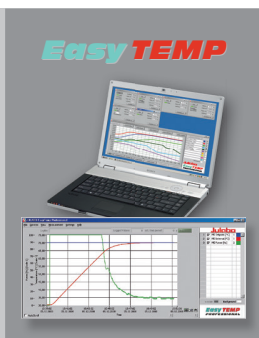
JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- 反応器内温度
- ジャケット温度

特徴

無料のEasy TEMP
ソフトを使用すれば
PCから装置を
制御できます。
また温度グラフも
表示できます。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0